

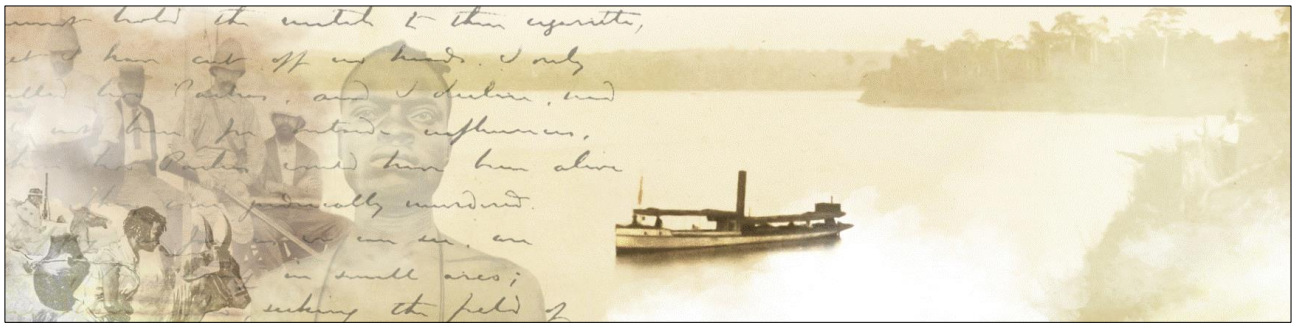
2023年2月 リリース

&lt;アフリカ史・帝国主義・植民地史&gt;

資料 No. 12-2023-394 / Dec. 2023

## 列強のアフリカ分割データベース

# Africa and the New Imperialism: European Borders on the African Continent, 1870-1914



19世紀半ば以降、アフリカ大陸の資源、アジアへの中継地点としての重要性から、列強はアフリカ大陸各地に進出しました。本データベースは、19世紀半ば以降の植民地拡大期における軍事紛争、政治的および外交的対立、探検、キリスト教の布教、技術の進歩、奴隷制など、アフリカ大陸に対するヨーロッパ人の植民地主義と帝国主義体制の影響を記録した資料を収録します。ヨーロッパ人の植民地化と搾取がおこなわれた新帝国主義時代のアフリカを網羅する、多様な資料を収録したコレクションです。

## 【価格体系】

G.C.19527

FTEにより価格が異なります。価格は概算参考価格(税抜)です。

FTEは人文社会科学系学部の学生数(学部生+院生)より算出いたします。

| FTE <5,000<br>(Band 0) | FTE 5,001-10,000<br>(Band 1) | FTE 10,001-15,000<br>(Band 2) | FTE 15,000<<br>(Band 3) |
|------------------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------|
| お問い合わせください             |                              |                               |                         |

◇ 完全買い切り・アクセスフィー無し ◇バックアップ HDD 提供可能(有償) ◇ 同時アクセス無制限

本データベースは、South African National Archives などをはじめ、アフリカ大陸のすべての国の国立図書館や公文書館での恒久的な利用が予定されています。

裏面以降もご覧ください→

(Adam Matthew Digital, GBR / 日本総代理店：丸善雄松堂)

- ◆ 消費税に関しましては税制の改正に則った内容で対応させていただきます。掲載製品はリバースチャージ対象製品です。
- ◆ 原価の改定、為替相場の変動などの理由による価格の変更や掲載タイトルの変更につきましては、予めご了承の程お願い申し上げます。
- ◆ 正式なお見積りは別途ご用命ください。

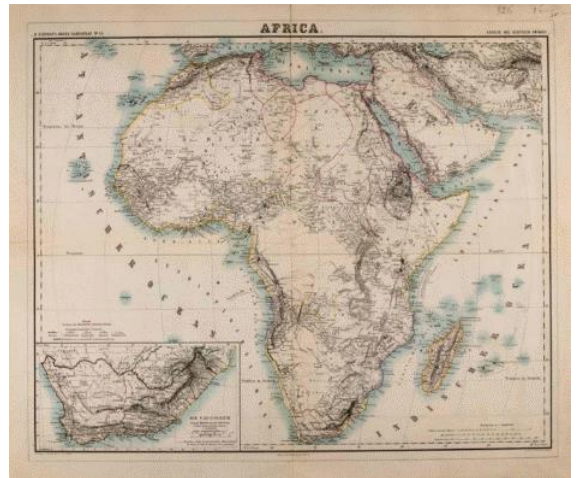
# Africa and the New Imperialism

European Borders on the African Continent, 1870-1914

【収録年代】 1870-1914年

【原本所蔵機関】 英、米、仏の11の専門機関より精選

Archives nationales d'outre-mer  
Bibliothèque nationale de France  
Bodleian Library, University of Oxford  
British Film Institute  
British Library  
National Library of Scotland  
Sanford Museum, Florida  
School of Oriental and African Studies, University of London  
Senate House Library, University of London  
The National Archives, UK  
University of Birmingham Library



【主なテーマ】

外交、帝国主義、人種と民族、宗教と布教、植民主義への抵抗、奴隷と強制労働、技術とインフラ、戦争と暴力

【収録資料】 印刷物、日記、日誌、通信、地図、写真、素描、行政文書、議事録、新聞の切抜 など

【資料のハイライト】

●David Livingstone(1813-1873 スコットランドの探検家)、John Kirk(1832-1922 スコットランドの医師)、James Augustus Grant (1827-1892 スコットランドの探検家) など、アフリカ大陸に足跡を残した人物の日記、スケッチブック

●Roger Casement (1864-1916 アイルランドの人権活動家) の書簡、コンゴでの残虐行為の報告書

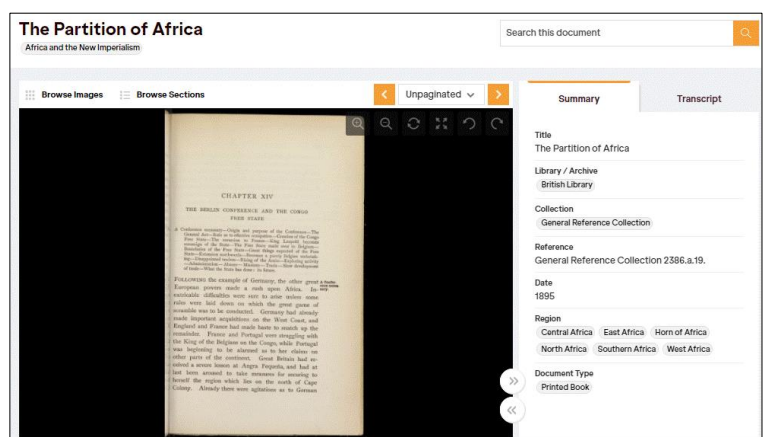
●ベルリン会議 (ベルリン=コンゴ会議) (1884-1885) に関するイギリス外務省のファイル: コンゴへのヨーロッパの介入、ベルギーとドイツの関与に関する文書など



↑ Grant のスケッチ

**Berlin Conference :**

アフリカ分割の原則 (先に占領した国を優先)、ベルギー国王の私領としてのコンゴ自由国の承認が確認された会議。ベルリン会議により、アフリカ分割が一層激化した。20世紀初頭には、アフリカ大陸において、リベリアとエチオピアを除くすべての地域が植民地化されることとなった。



●Pierre Savorgnan de Brazza (1852-1905 フランスの探検家) の通信、日記、報告書

●Frederick Lugard (1858-1945 イギリスの軍人、探検家) の書類、写真、書簡: 1870年代以降の東アフリカと西アフリカへのイギリスの関わり

●Flora Shaw (1852-1929 Frederick Lugard の妻 ジャーナリスト) の文書



↑ Lugard 撮影の写真

## Advanced search

詳細検索画面

Search by keywords or phrases:

Clear form

Search

|                   |   |                   |   |           |     |
|-------------------|---|-------------------|---|-----------|-----|
| Keywords Anywhere | ▼ | Search...         |   |           |     |
| AND               | ▼ | Keywords Anywhere | ▼ | Search... | ⊖   |
| AND               | ▼ | Keywords Anywhere | ▼ | Search... | ⊖ ⊕ |

Refine your search by date and specific categories.

Date

DD Month ▼ YYY ⊕ Add Range

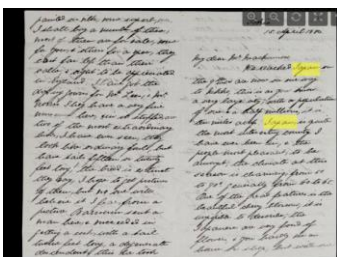
|   |        |    |   |
|---|--------|----|---|
| Region 0 <a href="#">Clear Region</a>                       | 地域     | 7  | ▼ |
| Document Type 0 <a href="#">Clear Document Type</a>         | 資料の種類  | 30 | ▼ |
| Language 0 <a href="#">Clear Language</a>                   | 言語     | 18 | ▼ |
| Library / Archive 0 <a href="#">Clear Library / Archive</a> | 原本所蔵機関 | 11 | ▼ |

から絞り込みが可能

Clear form

Search

### 【手書き文字認識機能 Handwritten Text Recognition (HTR) 搭載】



手書き文字認識機能 (HTR) により、本データベースに収録された手稿資料の検索が可能になりました。HTR とは、人工知能 (AI) と確率論を用いることで、文書中の手書き文字の組み合わせを特定する機能です。HTR を用いた検索で、より適切な資料を探し出すことができます。(文書の時代と手稿資料の複雑さのため、HTR は完全な検索結果を提供するものではありません)

#### 【編集委員】

Chukwuemeka Agbo Lecturer, Alex Ekwueme Federal University, Ndufu-Alike

Marianne Bechhaus-Gerst Associate Professor of African Studies, University of Cologne

Lindsay Braun Associate Professor, University of Oregon

Natasha Erlank Professor, University of Johannesburg

Jeremiah Garsha Assistant Professor in Modern Global History, University College Dublin

Mary Owusu Instructor, Carleton University

Dean Pavlakis Associate Professor, Carroll College

Christopher Prior Associate Professor, University of Southampton

Tapiwa Madimu Senior Lecturer, Rhodes University

Michelle Moyd Associate Professor, History, Indiana University

Egodi Uchendu Professor of History, University of Nigeria, Nsukka

Adrian Wisnicki Associate Professor and Digital Humanities Program Coordinator, University of Nebraska-Lincoln

William Worger Professor Emeritus, History, UCLA

入植者側の資料に限らず、アフリカの人々が記した資料も収録しています。



↑ マダガスカル女王

## アフリカ史・植民地史 関連 オンライン資料ご案内

### ■ アパルトヘイト データベース

#### **Apartheid South Africa, 1948-1980.**

英国国立公文書館に機密文書として所蔵されていた 1948 年以降のアパルトヘイト政策に関する英国の資料を包括的に提供。自治領に関する外務省資料、調査レポート、政治家のプロフィール、南アフリカのイギリス外交官とロンドン間でのやり取りや、新聞の切り抜き、非公式文書も含まれている。



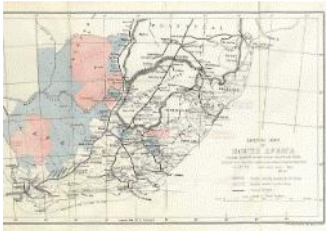
Archives Direct

Sources from The National Archives, UK

### ■ イギリス機密外交文書集データベース <アフリカ編 1834-1966>

#### **Confidential Print: Africa, 1834-1966.**

19 世紀初頭の沿岸貿易から 1884 年のベルリン会議と後のアフリカ分割、コンゴ自由国への侮辱、熱帯病との戦い、エチオピア人に敗戦したイタリア、第二次世界大戦、南アフリカのアパルトヘイトそして植民地の独立への移行まで、近代のアフリカ大陸がヨーロッパにより植民地化されていた時代を網羅。



Archives Direct

Sources from The National Archives, UK

### ■ 「帝国」研究データベース

#### **Empire Online.**

政治、経済、社会、文化、宗教、人種、階級など、帝国史、植民地史に関する世界各国の資料を収録。コロンブス、クックから 20 世紀後半の植民地独立、アメリカ帝国主義までの約 500 年間における「帝国」の盛衰を、支配者側／反帝国の人々、男性／女性、宣教師、探検家、植物学者、旅行者まで、様々な視点からの考察をうながす。



### ■ 奴隷・奴隷解放・社会公正資料コレクション

#### **Slavery, Abolition and Social Justice.**

奴隷制度・奴隷解放に関する、1490 年から 2007 年までの重要な資料とコレクションを集成。奴隷制の種類や遺産、社会公正的観点、今日まで続く奴隷制の存在に着目している。



価格などの詳細はお問い合わせください。

## 無料トライアル 受付中

- ◆ トライアル期間は個人・機関とも、1ヶ月間です。
- ◆ 下記の項目を E-mail: [e-support@maruzen.co.jp](mailto:e-support@maruzen.co.jp) までご連絡ください。  
お名前（ふりがな/アルファベット表記もご記載ください）、ご所属、ご連絡先(E-mail)、  
トライアル希望タイトル、IP アドレス(図書館からお申し込みの場合)、希望開始日
- ◆ お申し込みから設定まで 4-5 日かかる場合がございます。
- ◆ トライアルのお申し込みは、原則として大学・研究機関の専任教員・職員に限定させていただきます。  
学生・大学院生の方は、図書館員・担当教員を通じてご依頼ください。
- ◆ 個人情報のお取り扱いについて：ご記入いただいた個人情報は、お申し込みトライアルの設定、ならびに弊社よりの商品・催事のご案内に際してのみ使用いたします。弊社の個人情報保護方針につきましては、弊社ウェブサイトをご覧ください。  
<https://yushodo.maruzen.co.jp/privacy.html/>

今後の案内が不要の方は、トライアル申し込み時に、「商品の案内は不要」「催事の案内は不要」の旨をお知らせください。